



大城常夫会長(写真左)

16 行政サービスの向上へ 県行政改革懇話会が意見書提出

一月十六日、沖縄県行政改革懇話会の大城常夫会長(琉球大学教授)が、「沖縄県行政改革プラン」(案)への意見書を、稲嶺知事へ提出した。

意見書では、県保健医療福祉事業団、県水産公社、県建設技術センター、県土地開発公社の四団体の廃止が提言された。

このうち、県保健医療福祉事業団については、腎バンク事業のあり方で、懇話会の意見が分かれたため、存続と廃止の両論が併記された。

大城会長は「限られた行政資源を効果的かつ効率的に活用して、行政サービスの向上に努める必要がある」と指摘した。

これに対し、稲嶺知事は「行政改革は時代の流れ。今後ますますピッチを上げて取り組まなければならない」と述べた。

22 法律つてどうやってできるの? 中学生が国会を模擬体験

子ども達の国会への理解を深めようと、二月二日、那覇市の上山中学校で、参議院特別体験プログラムが行われた。

この日は、同校の二年生、約百五十人が体育館に集合。生徒の代表が、議長や委員長などに扮して、法案が、委員会審議と本会議を経て可決されるまでを模擬体験した。

今回は、レストランなどで、盲導犬の受け入れを義務化した「身体障害者補助犬法」についての審議で、参加者全員が、木札を投票し、賛成多数で法案が成立した。



国会で実際に使われている木札で投票が行なわれた

23 おめでとう 岩崎セツ子さん フランス国家功労勲章受章で知事表敬

二月三日、「フランス国家功労勲章」を受賞した沖縄フランス協会会長、岩崎セツ子氏が、在大阪・神戸フランス総領事アラン・ナウム氏らとともに、稲嶺知事を表敬訪問した。

岩崎氏は、国際的なピアニストとして活躍しており、現在は、県立芸術大学の音楽学部長を務めている。音楽などを通じた日本とフランスとの交流活動が認められ、今回、フランス大統領から同勲章が授与された。



岩崎セツ子氏とアラン氏

210 プロ野球キャンプ花盛り 稲嶺知事が各チームを激励

二月十日、沖縄でキャンプを張るチームを激励するため、稲嶺知事がキャンプ地を訪れた。

この日、激励に向かったのは、広島東洋カープ(沖縄市)、中日ドラゴンズ(北谷町)、東京ヤクルトスワローズ(浦添市)の三球団。

稲嶺知事は、今季から選手兼監督として采配を振るうヤクルトスワローズ古田敦也監督と握手を交わし「沖縄の果物やお茶は、全て健康にいい。是非、飲んで食べて活躍してください」と、タンカンやゴーヤー茶など沖縄の特産品を手渡し、チームを激励した。



広島東洋カープの練習風景



古田敦也監督(写真右)

県政日誌

(一月十六日～二月十五日)

十六日	〔表敬〕 第一交通産業(株)会長 黒土始氏
〃	〔表敬〕 「沖縄県行政改革懇話会」意見書手交
十七日	離任報告 警察本部長 三浦正充氏
十九日	平成十七年度(第二十七回) 沖縄研究奨励賞贈呈式
二十日	〔表敬〕 日本電気(株)副社長 川村敏郎氏
〃	農林水産業振興功労者感謝状贈呈式
〃	沖縄サントリー(株)代表取締役社長 竹内貞夫氏ほか
〃	平成十八年沖縄県赤十字大会
〃	〔表敬〕 駐日アイスランド大使 トーブル・アイギル・オスカーソン氏
二十一日	那覇港国際コンテナターミナル完成供用式典
二十四日	〔表敬〕 タイキン工業(株) 取締役会長兼CEO 井上礼之氏
〃	〔表敬〕 平成十七年度 ユニセフキャラバンキャンペーン
二十五日	〔表敬〕 名護市長選挙当選者 島袋吉和氏
〃	沖縄県軍用跡地利用促進連絡協議会
二月	松くい虫防除県民連絡会議

三日	着任挨拶 県警察本部長 大平修氏
〃	〔表敬〕 在大阪・神戸フランス総領事 アラン・ナウム氏
四日	おきなわ花と食のフェスティバル開幕セレモニー
〃	第二十五回北方領土返還要求沖縄県民大会
五日	第一回おきなわ文学賞表彰式・祝賀会
六日	品評会受賞農産物贈呈式
七日	特別叙勲・高齢者叙勲伝達式
十日	平成十七年度第三回行政改革推進本部
〃	キャンプ地視察(広島・中日ヤクルト)
十三日	キャンプ地視察(横浜・イスタース)
〃	〔表敬〕 パプアニューギニア独立国 外相 移民相 ラビ・ナマリュー氏
十四日	〔表敬〕 第四回太平洋・島サミット事前調査
〃	〔表敬〕 ハワイ県人会連合会 会長 比嘉ラバーン・ナンス氏ほか
〃	〔表敬〕 海上自衛隊佐世保地方總監 香田洋二氏
十五日	〔表敬〕 名護市長 島袋吉和氏

沖縄の人口世帯の動き
平成18年1月1日現在推計

人口 136万3,541人 ※前月比663人増

世帯 48万9,989世帯 ※前月比477世帯増